

# 平成28年度村単縦の木荘耐震診断業務 診断結果報告

平成29年3月31日

株式会社 城取建築設計事務所

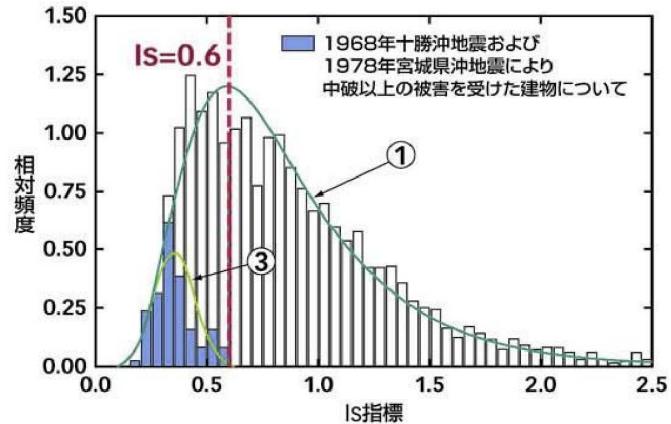
耐震診断の評価

## 耐震診断の基準 (is値)

is値とは構造耐震指標のことをいい、地震力に対する建物の強度、靱性（じんせい：変形能力、粘り強さ）を考慮し、建築物の階ごとに算出します。「建築物の耐震改修の促進に関する法律（耐震改修促進法）」の告示（平成18年度国土交通省告示 第184号と185号）により、震度6～7程度の規模の地震に対するis値の評価については以下の様に定められています。

is値が0.6以上	倒壊、又は崩壊する危険性が低い
is値が0.3以上 0.6未満	倒壊、又は崩壊する危険性がある
is値が0.3未満	倒壊、又は崩壊する危険性が高い

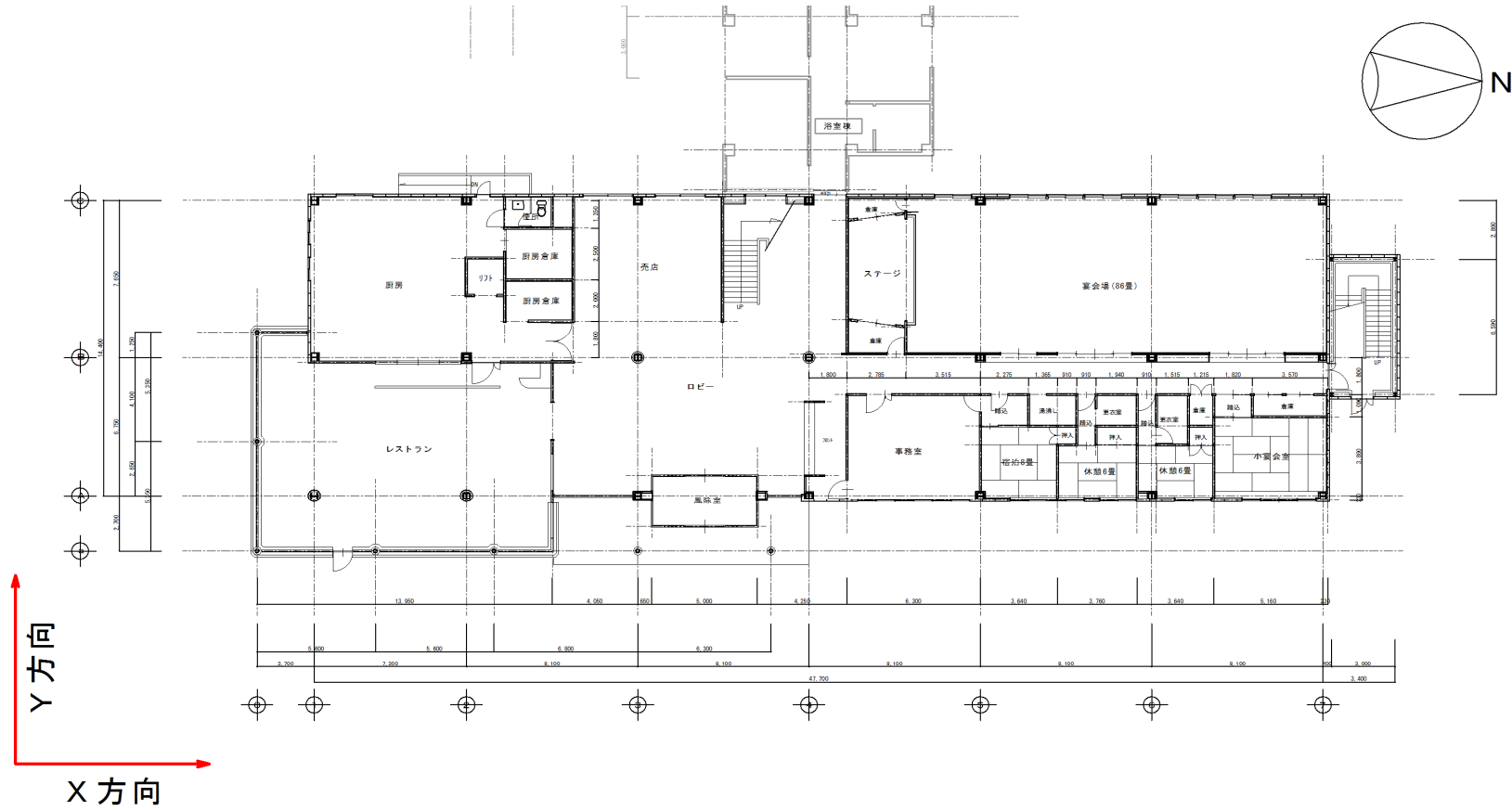
地震被害を受けた建物のis値分布



- 1：被害地震を未経験の建物のis値の分布
- 3：1968年十勝沖地震及び1978年宮城県沖地震で中破以上の被害を受けた建物群のis値分布  
(is値が0.6以上の場合は、中破以上の被害を受けていない)

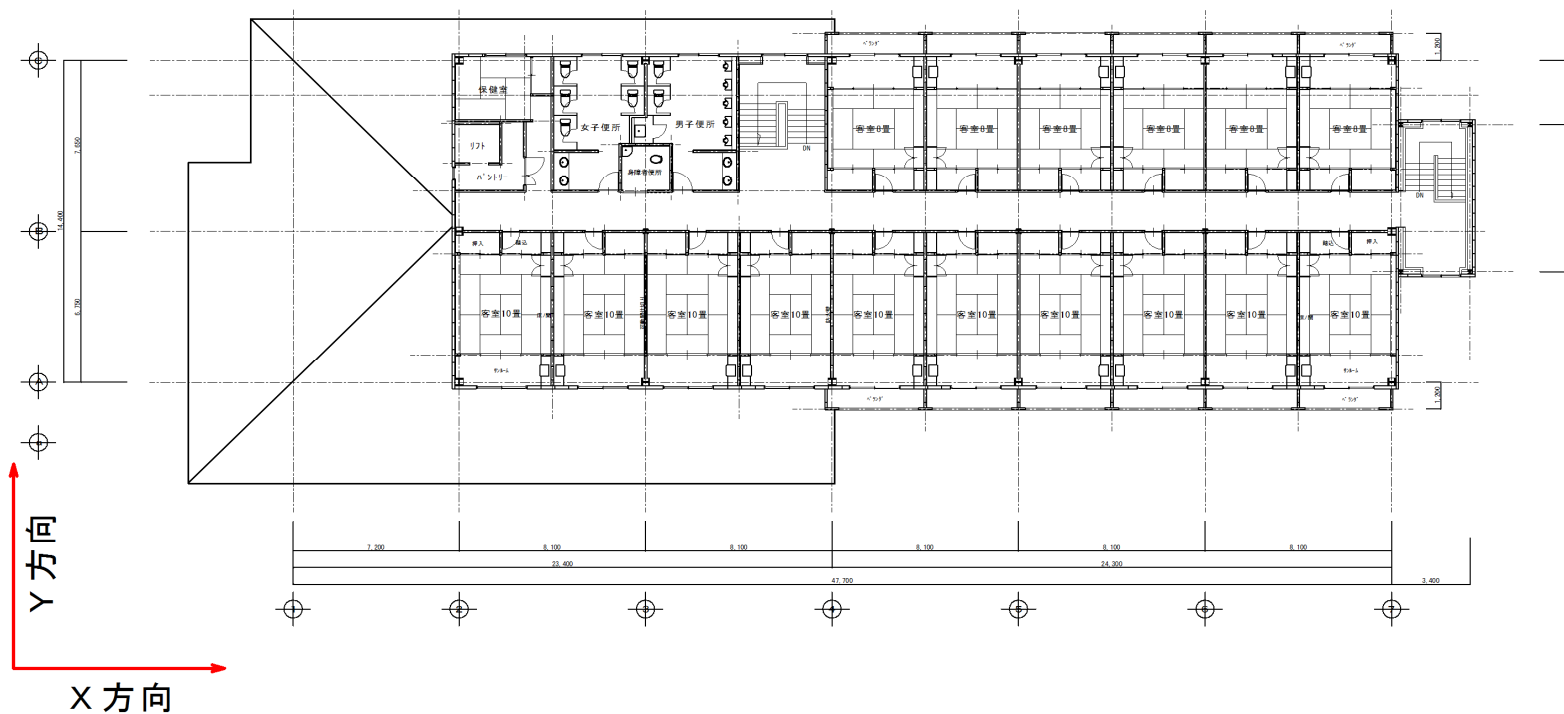
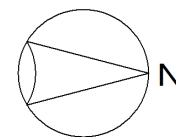
# 診断結果

宿泊棟 1階



方向	I <sub>s</sub> 値	判定 I <sub>s</sub> <0.6 →補強必要
X方向	0.30	補強必要
Y方向	0.27	補強必要

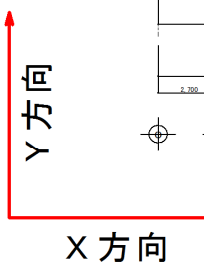
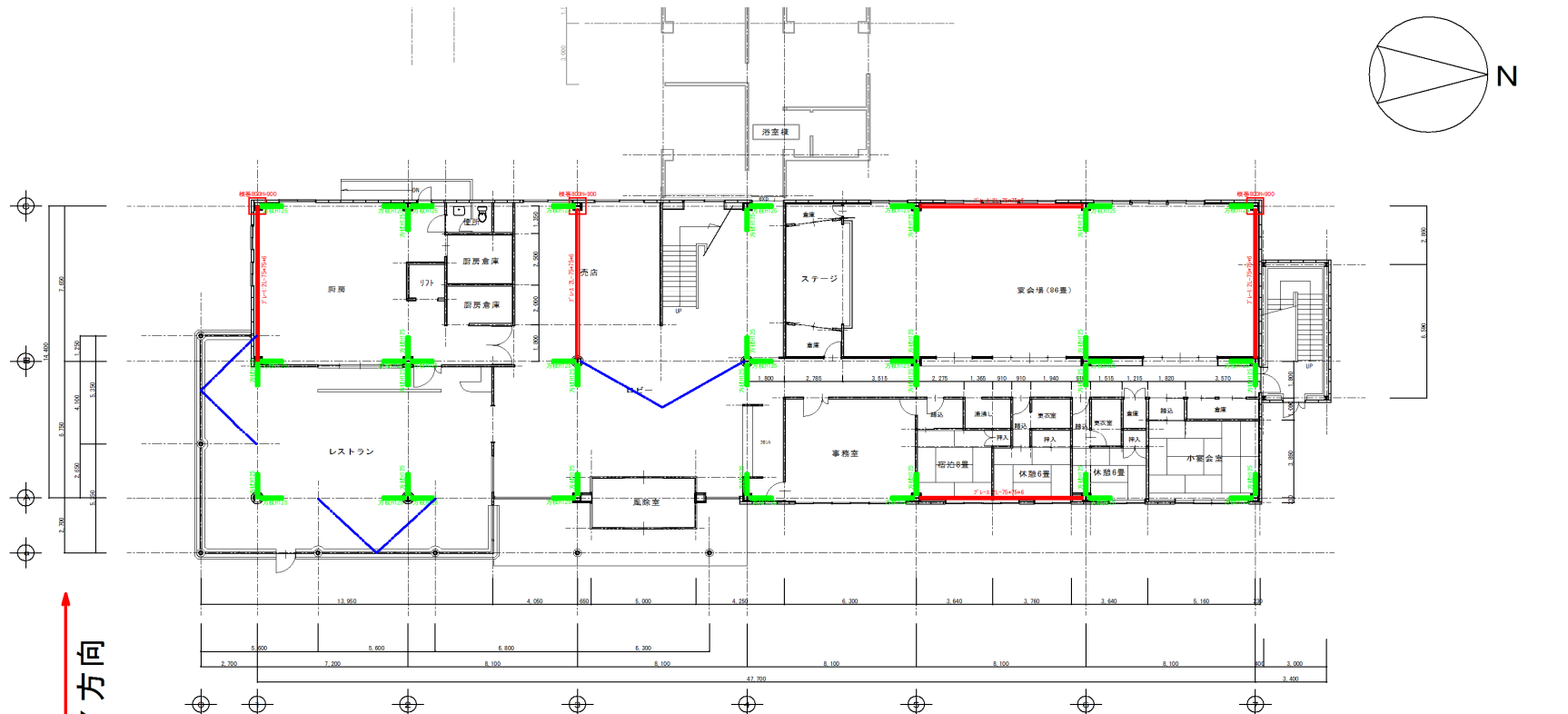
宿泊棟 2階



方向	$I_s$ 値	判定 $I_s < 0.6 \rightarrow$ 補強必要
X方向	0.90	OK
Y方向	0.58	補強必要

# 補強案

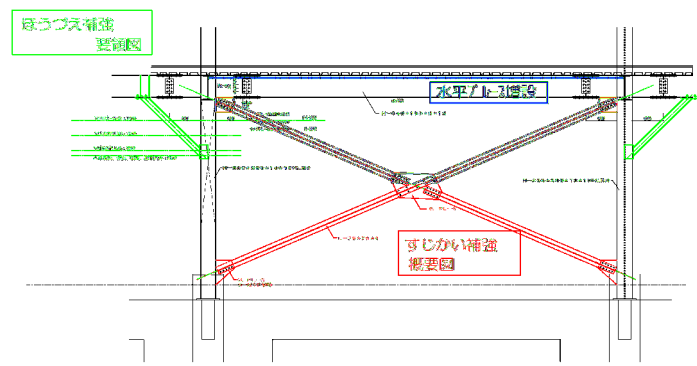
## 宿泊棟 1階



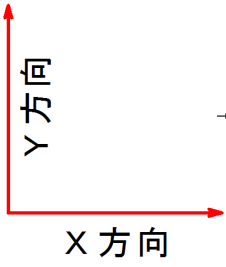
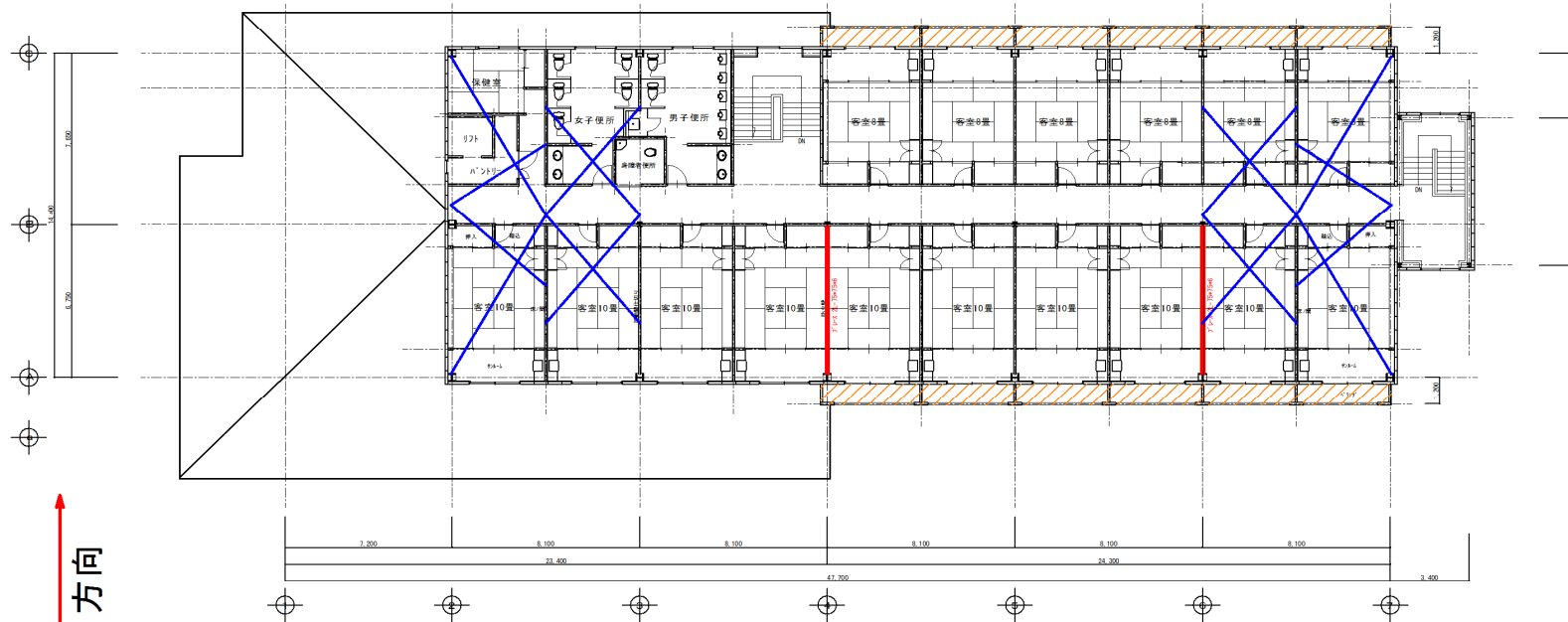
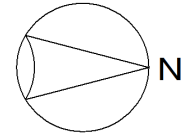
	すじかい補強 ×形	5構面
	ほうづえ補強	48ヶ所
	水平ブレース増設(天井裏)	3構面

(災害拠点施設 |  $s_o = 1.25 \times 0.6$ )

方向	$s$ 値	判定 $s > 0.75 \rightarrow$ 補強OK
X方向	0.82	補強OK
Y方向	0.88	補強OK



宿泊棟 2階

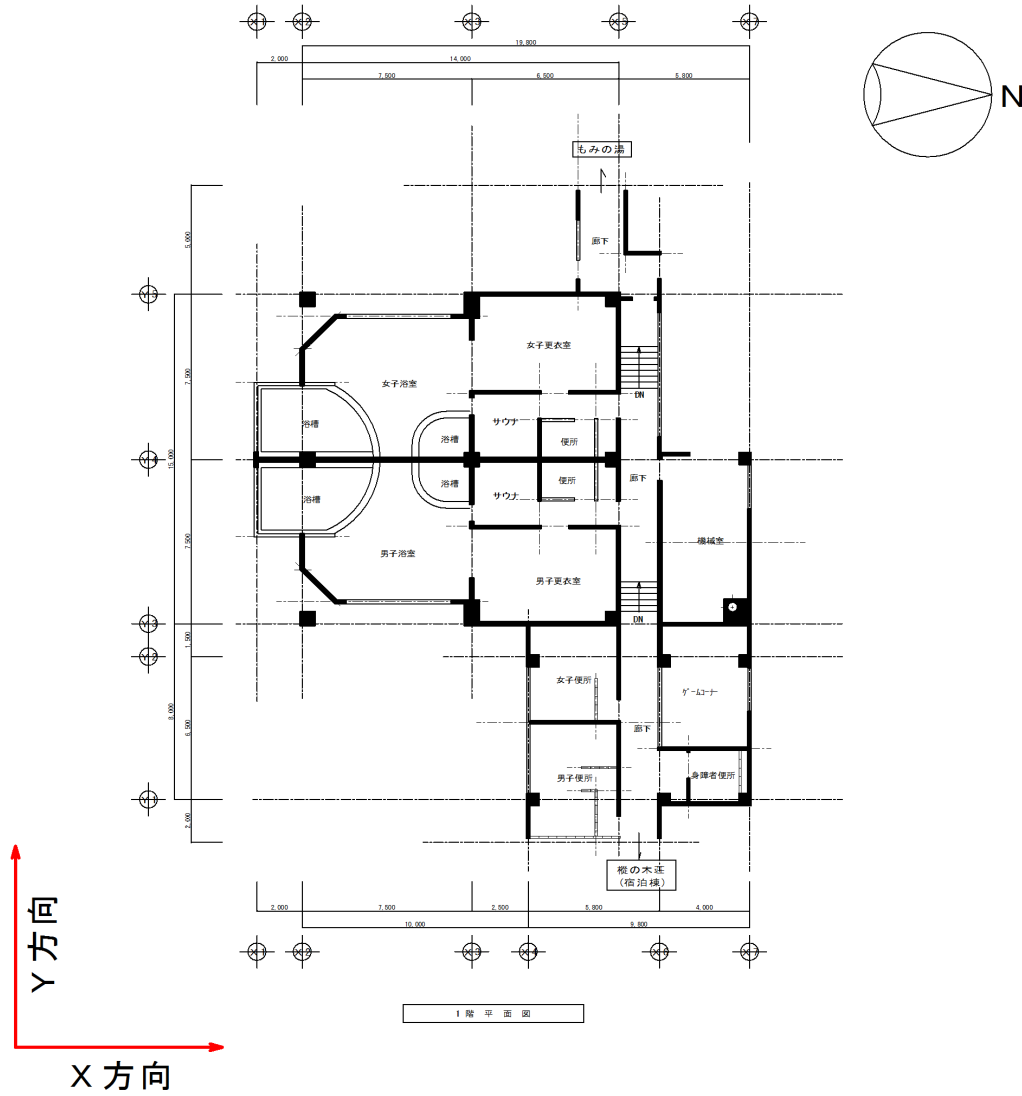


	すじかい補強 ×形	2構面
	水平ブレース増設(天井裏)	8構面
	アスベスト(石綿)吹付範囲	ベランダ*下端

(災害拠点施設 |  $I_{so} = 1.25 \times 0.6$ )

方向	$I_s$ 値	判定 $I_s > 0.75 \rightarrow$ 補強OK
X方向	0.85	補強不要
Y方向	1.21	補強OK

診断結果  
浴室棟



方向	Is値	判定
X方向	2.90	Is < 0.6 → 補強必要 補強不要
Y方向	2.33	補強不要